

岡崎市制100周年四季祭プロジェクト
第31回国民文化祭・あいち2016

2016.7.1
100th
ANNIVERSARY
KAZAKI
岡崎市制施行100周年

Memorial Jazz concert

ケイコ・リー プロデュース

2016/12/3(土)

開場 14:15 開演 15:00

場所	岡崎市民会館ホール	〒444-0072 愛知県 岡崎市 六供町 字出崎15番地1
出演	ケイコ・リー (Vo.) プロデュース公演	ゲストアーティスト TOKU (Vo. Flhg. Tp) / 小沼ようすけ (Gt.) レギュラーバンド 野力 奏一 (Pf. Key) / 岡沢 章 (Bs.) / 渡嘉敷 祐一 (Ds.)
発売日	9月10日(土)	料金 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円 <small>※未就学児の入場は、ご遠慮ください。※車椅子席の販売については「岡崎市図書館交流プラザLibra」へお問合せください。</small>
特別出演	りぶらジャズオーケストラ Jr.岡崎Beanzz 岡崎市立北中学校吹奏楽部	チケット取扱場所 岡崎市民会館 ※9月20日より発売開始 0564-21-9121 岡崎市シビックセンター 0564-72-5111 岡崎市図書館交流プラザ Libra 0564-23-3100 チケットぴあ Pコード 【308-746】0570-02-9999 ※セブン-イレブン、サークルK、サンクス各店でも購入できます。 ローソンチケット Lコード 【L42002】0570-084-004 ※ミニストップでも購入できます。 イープラス
主催・お問合せ	ジャズの街岡崎発信連絡協議会 岡崎市文化芸術部文化総務課内 0564-23-6615	http://eplus.jp/sys/main.jsp 岡崎市100周年四季祭プロジェクト 検索

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用いただけますよう、お願い申し上げます。



KAZAKI の 岡崎
Jazz 街
JAZZ CITY OKAZAKI



ケイコ・リー (Vo.)

95年のデビュー作『イマジジン』以来、ライブ盤、ベスト盤を含む23枚のアルバムをはじめ、多くの作品をリリースしている。存在感のあるヴォーカル・スタイルとディープ・ヴォイスが評判を呼び、共演したミュージシャンから「楽器と対等に渡り合える歌手」と絶賛され、その即興性と瞬発力にすぐれたパフォーマンスの評価は高い。01年、日産ステージCMソング『ウィ・ウィル・ロック・ユー』の大ヒットで幅広いファンを獲得。翌年に発表したベスト・アルバム『ヴォイセズ』は累計25万枚のヒット作となった。03年、シングジャーナル誌主催「日本ジャズメン読者人気投票」では女性ヴォーカル部門の第1位(13年連続/通算15回)に加え、総合部門の頂点でもある「ジャズマン・オブ・ザ・イヤー」「アルバム・オブ・ザ・イヤー」の三冠の快挙を達成。アルバムデビュー10周年を迎えた05年には、長年の活動を支えてきたファンの声を反映したベスト盤、『ヴォイセズ・アゲイン』をリリース。12年、国内外5人の男性ヴォーカリストとのデュエットで話題となった『ケイコ・リー・シングス・スーパー・スタンダードズ2』をリリース。その他CM 楽曲、TVドラマ主題歌などオリジナルの作曲にも定評があり、また多重録音のヴォーカル・アレンジも自ら手掛ける等、多方面にて多彩な才能を發揮している。そして国内はもとより香港・台湾・韓国などアジア地域でも人気を博し、セールスも好調。実力・人気ともにNo.1ジャズ・ヴォーカリストとして国内外でその地位を確立している。2015年レコードデビュー20周年を迎え、記念アルバム『LOVE XX』を11月4日に発売。生誕100周年を迎えたビリー・ホリデイとのヴァーチャル・デュエットも収録され話題に。このアルバムはジャズ・ジャパン・アワード2015「アルバム・オブ・ザ・イヤー(ヴォーカル部門)」を受賞。

TOKU (Vo.Flhg.Tp)

日本唯一のヴォーカリスト&フルートホルンプレイヤー父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にブラスバンドで初めての楽器コルネットを手にする。2000年1月アルバム『Everything She Said』でSMEよりデビュー。デビュー当初から注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。また、アルバムはアジア各国でもリリースされ、積極的に海外での公演も行っている。また、ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、m-flo, 平井堅, Skoop On Somebody, 今井美樹, 大黒摩季, などのアルバムに作家、プレイヤーとして参加。2008年に発売したアルバム『Love Again』は初のDuet SongをExileのATSUSHI氏を迎えて収録。また、2011年3月の東日本大震災の直後に行われた、シンディー・ローパーの国内ツアーにも参加し、話題となる。そして2011年4月27日、本人がずっと温めていた企画『TOKU sings & plays STEVIE WONDER ~ A JAZZ TRIBUTE FROM ATLANTA』を発売。2015年5月、フランクシナトラの生誕100周年を記念して全曲シナトラのカバーアルバムを発売、そのレベルの高さに各所で大絶賛を浴びる。



小沼ようすけ (Gt.)

1974年11月24日生まれ。秋田県出身。14才で父の影響によりギターを始めロックバンドを組み音楽活動開始。その後ジョージ・ベンソン、ダニー・ハサウェイ、グラント・グリーンなどに感銘を受け、本格的にジャズギターを学ぶ。1995年、ヘリテージジャズギターコンペ世界三位を皮切りに注目を集め、1999年ギブソン・ジャズ・ギター・コンテストで優勝。2001年、『nu jazz』でSony Musicよりデビュー。確かなテクニックと新しい感覚、オリジナルナンバーのクオリティの高さは多方面で評価を受け現在までに9枚のアルバムをリリース。様々なアーティストとのコラボレーション、また国内のみならず海外でのライブやレコーディングなど幅広い活躍を見せている。ジャンルの壁を越えたオリジナリティ溢れる奏法や音色は常に進化を続けている。

野力 奏一 (Pf.Key)

1957年10月20日、京都生まれ。61年から8年間クラシックピアノを学び、71年、マイルス、コルトレンを聴きジャズの道に入る。74年に父親の持っていたフルバンドに参加。77に上京、ジョージ・ベンソンバンド等でセッションを重ねる。80年、本多俊之パーニング・ウェイブ、山下達郎ツアーに参加。83年、自己のバンド「NORIKI」を結成、アルバムも発表。以降、渡辺貞夫、日野皓正グループのメンバーとして、国内外のツアーに参加。伊藤君子、アンリ野野等多くのアーティストのアルバムにピアニスト、アレンジャーとして参加。又森田芳光監督の映画音楽を担当「キッチン」「ハル」等。98年、寺井尚子の初アルバム「シンキング・オブ・ユー」にアレンジ・ピアニストとして参加。同年以降、ケイコ・リーのバンドのピアニスト、音楽監督として活動、現在に至る。また松木恒秀、鈴木良雄、岡田勉、大野俊三、等のバンドメンバーとしてCDに参加。ピアニストとしてだけでなくアレンジャー、作曲家としても活躍している。

岡沢 章 (Bs.)

ベーシストとしてのデビューは1968年、17才の時グループサウンズ「M」から始まる。18才で同グループ退団後、19才の頃より本格的にスタジオ・ミュージシャンの活動を開始する。並行して「稲垣次郎 & SOUL MEDIA」に参加、その後、松岡直也、渡辺貞夫等のグループを経て、1979年から鈴木宏昌をリーダーとする「プレイヤーズ」に加入。その他、1986年、1992年～1993年に於いて再び渡辺貞夫グループのメンバーとして、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカのコンサート・ツアーに参加する。現在もケイコ・リー初め高中正義や数々のレコーディングセッションやライブ活動を行っている。

渡嘉敷 祐一 (Ds.)

祖師谷小学校卒。今成進、小津昌彦両氏に師事し、高校在学中よりデイスコバンド等でプロ活動を開始する。1976年、杉本喜代志グループに参加、同時期にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタートさせ、現在に至るまで様々なジャンルのアーティストのレコーディング、コンサートに参加している。1977年には伝説のバンド、ザ・プレイヤーズに参加、7枚のアルバムを発表。またプレイヤーズの活動と並行して、松木恒秀バンド、吉田美奈子バンド、松岡直也グループ等にも参加。その後、渡辺貞夫グループのワールドツアーへの参加の他ケイコ・リー、玉置浩二、徳永英明等のヴォーカリストのサポートも多い。現在、自身のジャズセッションとbonsaiというロックバンドでも活動中。

アクセス情報

- 名鉄東岡崎駅から徒歩25分
- 名鉄バス停「籠田公園前」から徒歩5分
- まちバス南北ルート「西六供南町」から徒歩5分
- まちバス東西ルート「籠田公園」から徒歩5分

